

見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和4年3月16日 NO.12

つり飾り展：「七宝鞠」

ネーブルみつけ



深める研修, 広げる研修

教育センター運営委員（今町小学校校長）小杉 洋一

「小杉さん、体育の研修サークルに入会しないかね？」とA先生。

「小杉さん、算数の研修サークルに入会しないかね？」とB先生。

私は、大学は小学校教員養成課程で、中学校数学の免許も取得しました。しかし、初任者の頃、「自分の研究教科はこれだ」と言えるものがありませんでした。

その後、転勤した学校は大規模校で、私は体育主任となりました。その学校の2人の先輩が研修サークルに次々と誘ってくれました。それが冒頭の言葉です。

それまでに諸先輩から、「研究教科を決めて、継続することが大切」というアドバイスを受けていたにも関わらず、それに正対して来なかった私は、この誘いを真剣に考えました。そして、算数を研究教科に決め、約30年が経ちました。

30年前と現在とを比較すると、学校を取り巻く状況は大きく変化しました。一部の教員に必要な特別支援教育は全ての教員に必要です。ICTは日々進歩します。地域・保護者の方とのコミュ

ニケーションも重要です。

こうした状況の中でも、自分の研究教科をもつことは、やはり大切です。継続して頑張ることで、自信が生まれるからです。しかし、「研究教科だけ頑張ればいい時代」ではありません。変化に対応するために、研修の対象を今日的な課題にも広げる必要があります。

見附市教育センター主催の「4時から夢塾」。今年度の全14講座で、どんな今日的な課題が何回扱われているかを整理してみました。

学校安全3, ICT2, 新しい教科2, SDGs1, 小中連携1, 特別支援教育1, 保護者対応1

このように多く扱われています。これをぜひ利用したいものです。

自分の研究教科を継続して頑張る「深める研修」、今日的な課題に取り組む「広げる研修」。どちらにも主体性をもつ教師でありたいものです。

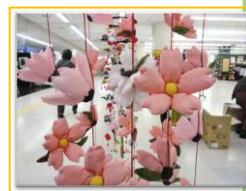
表紙写真に寄せて 『みんな違って、みんないい』

◇ネーブルみつけで「つり飾り展」が今年も開催(7回目)された。会場は、赤やピンクなどのつるし飾り(右写真)で埋め尽くされ、寒く雪が多かった今冬、ここだけは別世界。暖色系の飾りは、心を温かくしてくれる。一つ一つ見ていくと桜や梅などの花、鞠や蹴毬が多く、金魚や鯉、うさぎやねずみなど様々な飾りがある。



<色鮮やかなつり飾り>

どの飾りにも見入って、ふと『みんな違って、みんないい』(金子みすゞ)と独り言が出た。そんな時、「これはなんだ?惑星?」と思うものを発見。(巻頭写真)この紺や黒色のつり飾りが、何を模して作ったかはじっくりと見たが分からなかった。そこで調べてみると、つるし飾りは、その作品に願いが込められているという。「花」は花のように可愛く育ちますように。



「三角」は病気に無縁でありますように。「俵」は食に困りませんように。

「ねずみ」は金運に恵まれますように。「鞠」は円満に心豊かな暮らしへの願いなど、「衣食住に困らないように」との願いが込められていることを知った。これまで縁起物の飾りとか、無病息災の願いが込められ…とか何となく、「雛人形のつりバージョン」との捉えていたのだが。よい学びをした。しかし、巻頭写真が、何を模したつり飾りかは分からなかった。



◇そこで、つり飾り展が終了した翌日(9日)、後片づけに来られた作者に、直接尋ねたら「七宝鞠」と教えてくれた。七宝柄には円満や調和、ご縁の願いが込められ、人とのご縁やつながりは七宝と同等の価値があるのだという。いい作品ではないか。一つ一つに願いが込められた桜や梅の花、魚、



<桃色七宝鞠>俵ねずみ、鞠…のつり飾りは、「みんな違って、みんないい。」素晴らしいものである。◇雛祭りの頃、新聞紙上に、「心ときめく春間近」「華やかに春呼ぶ」などの見出しで、県内各地の「つるし雛飾り」が載っていた。寒く雪の多かった新潟も、春の訪れである。

コラム —「これが私の実践」・頑張りを残したい。—

◇新型コロナウイルス感染症発生から、二年以上が経過したが収束が見通せないでいる。先般、小学校教員であった私は、送り出した子どもたちのいる中学校の卒業式に出席した。卒業証書授与で、彼らが呼名される度に、成長した姿に感動を覚えながら、一方で「可哀想だよなあ。」と思えた。それは、三年間の中学校生活で様々な学校行事の中止や変更で、入学時に抱いた中学校生活ではなかったはずだからである。しかし、式典での堂々とした姿や頂いた冊子から、充実した中学校生活を知ることが出来た。これは、この中学校に限らず、見附市の中学校においても同じであろう。困難な中で子どもたちの頑張りがあったのもそうだが、保護者や地域など学校教育に関わる皆さんの協力、そして、何より教師の皆さんの頑張りが大きかったのだと思う。校種に関わらず、すべての教師がそうである。◇教師は、常に実践を振り返り高めていると思うが、このコロナ禍の頑張りを記録に残しておく必要がある。今までと違う教育活動の実践を発表し合い、その実践に学び合いたい。先頃、全国的な教育論文で、最高賞を受賞した人の新聞記事を見た。それは、燕南小学校のY先生の『社会貢献をし、自らの幸せを創造する力の育成』である。コロナ禍において、子どもたちは活動を通して、みんなの役に立てたことを実感し、自己肯定感を高めることができたという実践である。また、今年度の特色ある教育実践校(新潟県)が発表され、優良校に見附小学校が選ばれた。その実践に学びたい。教師は常に自分の実践を振り返り、改善し、新たな実践を行っている。大変な時だからこそ、実践を記録に残して欲しい。(こ)

令和3年度「4時から夢塾」実施報告



回	内 容	〈所属〉 講 師 (敬称略)	参加数
1	学校生活と新型コロナウイルス感染症対策	新潟大学病院 相澤 悠太	30
2	理科教育におけるICTの活用	県立教育センター 小野 浩	25
3	評価と小学校英語の学びを中学校に生かす	中越教育事務所 川田 昌宏	25
4	GIGA：理科学習でのタブレット端末活用	見附中学校 早田 浩延	21
5	困り感のある子への寄り添い方&保護者対応	フリージアみつけ 真壁 薫	62
6	ICTを活用した道徳授業	新潟・東山ノ下小学校 大竹 直志	35
7	子どもの心の仕組みとその取扱い方	キャッツこどもクリニック 磯部 賢論	32
8	示範授業：小算数（4年 概数）	附属長岡小学校 笠原 知明	25
9	示範授業：中数学（3年 式の計算）	附属長岡中学校 橋本 勉	15
10	示範授業：小社会（5年 外国とのつながり）	附属長岡小学校 倉石 智幸	39
11	示範授業：中英語（1年 助動詞 will）	附属長岡中学校 佐藤 正秀	15
12	校長メッセージ：授業づくりと学級づくり	葛巻小学校 高橋 豊	40
13	校長メッセージ：今町地域の歴史を学ぶ	今町中学校 大滝 雅門	22
14	校長メッセージ：安全教育と私（ZOOM）	見附小学校 松井 謙太	30

合計参加数 416



○優れた実践者を招聘し、児童生徒に「わかる・楽しい授業」となる授業力向上講座の設定。

○文科省の施策を推進するための講座や新型コロナウイルス感染症対応への講座の設定。

- ・GIGA スクール講座の実施。
- ・英語（外国語活動） ・道徳に重点をおいた講座の実施。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応（学校・子ども）を学ぶ講座の実施。

2 一年間を振り返って

○幅広く講師を招聘し、教員の授業改善や授業力向上、資質向上を図る講座が実施できた。

○医師によるコロナ感染症対策の講座は、学校現場にとって有効な内容で実施することができた。

○民間教育施設代表から「困り感のある子への寄り添い方」の講座は、学びの多い研修だった。

○GIGA スクール研修は、実際の授業で活用を学び、

3 次年度に向けて

参加者に大きな刺激を与えた。

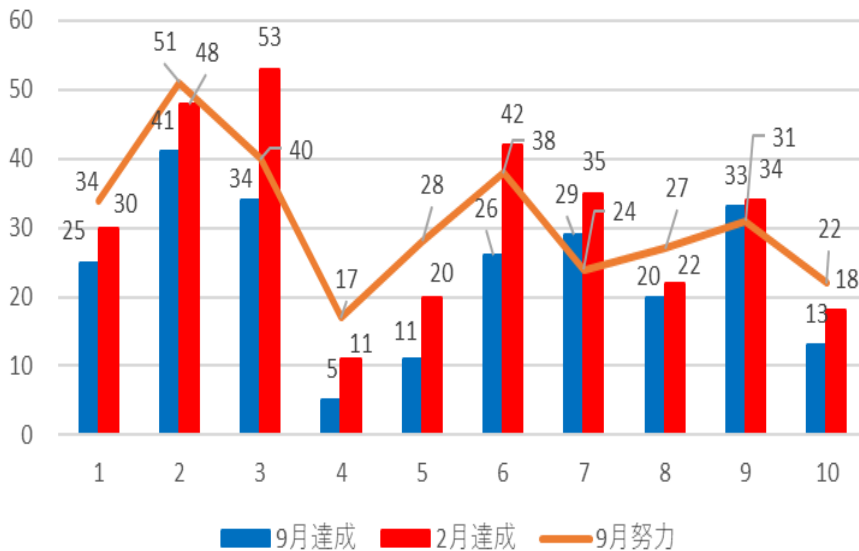
○課題解決に向け、授業力や資質の向上を図る講座の開設に努める。

○講座数や時間等、参加者の負担にならない講座の実施をめざす。



令和3年度「指導力向上ドック」の結果から

R3 新教師の10か条 達成状況自己評価



学力向上に向けて
授業中にこれだけは大切にしたい

新教師の10か条

- 1 児童生徒の問いや願いを大切に授業を行います。
- 2 意図が明確な発問とわかりやすい指示を行います。
- 3 関心意欲を高め、学びを深める教材や教員の活用を工夫します。
- 4 考えの相違やつながりを明確にするなど、思考を深める板書を行います。
- 5 考えを書いて深める場を大切にします。
- 6 児童生徒の考えや発言を生かして学習を進めます。
- 7 学習内容に応じて、学習形態を工夫します。
- 8 基礎基本の定着とともに、活用力の向上を図る場を充実させます。
- 9 机間指導で一人一人の学習状況を把握し、個別の支援を生かします。
- 10 本時の振り返りやまとめを行い、次時や家庭学習につなげます。

個々の教職員の「日々の授業」を自己診断する「指導力向上ドック」アンケートに回答いただき、ありがとうございました。先生方個々の目標達成の度合いを集約すると上記のグラフとなります。

市内各校の研究主題をみると、「教師の手立てに力量を置く研究主題（研修テーマ）」を設定している学校（中学校が多い）があります。そうすると10カ条で項目1～3を中心に授業改善をする先生方が多くなるのも当然です。しかし、学習指導要領で示される「主体的な学び」「深い学び」には、子ども自身が「どのように自分は学んできたか」「学んだことは自分にとってこんな点で有効だ」と省察する場面の設定が大切です。教師の10カ条で言えば、**項目5や項目10**（毎時間でなくても学習活動のまとまりにおける自己評価、形成的評価の場の設定）が大切となります。また、「深い学び」を具現化するためには、「対話的な学び」が欠かせない要素となります。新型コロナウイルスの影響で、各授業は、一定の配慮が必要となりますが、教師の10カ条で言えば、**項目5や項目7**に係ります。次年度の授業改善のポイントとして、指導力向上ドックの指標を参考にしてください。

指導力向上ドックは「個の授業改善」に関する視点ですが、個々の意識を集約することで、「各校や見附市の教職員全体が意識したい、授業改善のヒント」が得られます。そして、「個々の教職員が意識する指導方法に対して、客観的に助言、支援する役割」として、「師がく」が位置付けられています。次年度も管理職、研究主任のマネジメントの下、授業改善を進めてくださいますようお願いいたします。

<「師がく」年度末アンケートより>

- 子どもの見方についてのご指導は、いつもとてもありがたいです。自分の見方を広げることができます。また、年に2回という回数も、子どもたちの伸びをご指導いただけるのでありがたいです。（小学校）
- 師がくで、ご指導いただける機会があることは、とてもありがたいです。しかし、年2回の師がくがあると、学校行事との兼ね合いもあり、特別時程になることが多くなり、生徒も教員も混乱しています。（中学校）



3月

科学教育部



《今月の1枚》

3月はカワラヒラの巣作りの時期

【誰もが使える理科室環境に~できることから少しずつ~】

各校年度末の事務処理等で慌ただしい時期かと思えます。私たちが時間に追われるとなかなか子どもたちに目が行き届かなくなります。私たちが仕事をする環境を整えることはとても大切です。理科室・準備室・薬品庫などの環境を整えると、ゆとりをもって授業に臨めます。今年度、授業をされていて気になったところ、例えば、「この道具がなかった!」「教具の場所がわからない!」などを解決しておく、来年度の授業がスムーズです。

<薬品や実験道具が不足>

今年度のうち、もしくは来年度スタート時に注文するなどしましょう。あるいは、次の担当者に確実に引き継ぎましょう。なかった時にメモする習慣をつけると良いですね。

<教具の場所がわからない>

教具の在る場所がわかるように、名称を記しましょう。理想は大人も子どもも場所がわかることです。場所がわかれば、自分たちで準備ができるようになります。私たちの負担が減るとともに、考えて行動する力が育ちます。

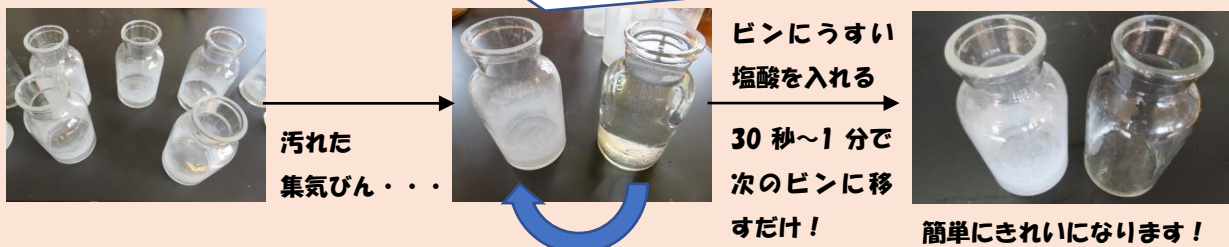
<不要教材を処分>

理科室の中には「いつのものだろう?」といった、実験の教材として使わないものが眠っていることがあります。1年間使用しなかったものは、今後も使用しない可能性が高いです。時間のあるうちに処分をしておくで理科室はスッキリします。

<教具の汚れもきれいに>

なかなか落ちにくい汚れも、薬品を使うと落としやすくなります。年度末の清掃に役立つ薬品もあります。なぜその薬品で汚れが落ちるのかといったことも、生活の中にある科学ですね。

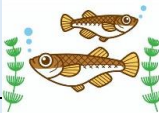
酸性で汚れが落ちます。クエン酸で汚れが落ちるのと同じです。



ひと手間かければ、先のふた手間が減ります。誰もが使える理科室環境にすることで、未来への投資になります。できることから少しずつ変えていくことで、自分だけでなく、職員全体の負担が軽減されていきます。

【小学校の新年度の最初の学習準備】

4月になると、新しい学年で授業が始まります。もしかしたら理科を初めてもつ方も、担当学年の授業が初めてという方もいるかと思えます。今年度内に、理科主任を中心に、校内全体で教材の準備を計画しましょう。各学年で考えられるものは、次の通りです。

<p>3年生</p>	<p><u>1 しぜんのかんさつ</u></p> <p><u>2 植物を育てよう</u></p> <p><u>3 かげと太陽</u></p> <p><u>4 チョウを育てよう</u></p>	<p>・虫めがね, 観察板</p> <p>・ホウセンカの種, ヒマワリの種 種まきの時は、水につけておくことで発芽率を高めることができます。また観察にはオクラの種もお勧めです。</p> <p>・遮光板, 温度計, 方位磁針(北に向いているか) 教科書は棒温度計の使用をしていますが、新学習指導要領ではデジタル表示のものを使用することも可能になっています。方位磁針は1年間使わないと南北が反対になっているものもあります。磁石を使って直しておきましょう。</p> <p>・キャベツの苗 モンシロチョウに卵を産ませます。気温の影響でチョウの成虫の発生時期も早いかもしれないので早めの準備をしましょう。</p>
<p>4年生</p>	<p><u>1 あたたかくなって</u></p> <p><u>2 1日の気温と天気</u></p>	<p>・ヘチマの種 発芽が安定しないことのあるため、予備が多めにあると良いです。</p> <p>・温度計, 百葉箱など気温の観察道具</p>
<p>5年生</p>	<p><u>1 ふりこの運動</u></p> <p><u>2 種子の発芽と生長</u></p> <p><u>3 魚のたんじょう</u></p> 	<p>・振り子の実験器 予備実験をして壊れていないか、正確に動くかどうかを確かめましょう。</p> <p>・インゲンマメの種, ヘチマの種, アサガオ種 つるなしのインゲンマメを選ぶと場所を取りません。学校事情に合わせて選びましょう。</p> <p>・メダカの水槽準備 新年度も希望する学校にメダカをセンターから配付します。メダカが安心して過ごせる水槽を用意しておきましょう。</p>
<p>6年生</p>	<p><u>1 燃え方と空気</u></p> <p><u>2 人や動物の体</u></p>	<p>・ろうそく, マッチ, 線香, 集気びん, 石灰水, 気体検知管, 気体ボンベ(酸素, 二酸化炭素, 窒素を班の数+予備2~3本) 授業までに準備をしておきましょう。直前にうっかりないことがないようにしましょう。</p> <p>・でんぷんとヨウ素液, 気体検知管 気体検知管は、デジタル気体検知管も貸し出すことができます。ぜひご利用ください。</p>

科学の公園

【ICTの活用～理科だけでなく他教科、総合学習で活用できるサイト～】

一台端末の活用で、少しずつ授業が変わっています。ちょっとしたアプリやサイトを使うことで子どもたちの目がより輝きます。ここで紹介するのは、理科の授業以外でも活用できそうなサイト等を紹介していきます。

【①Google マップ Google Earth ・～地層・地形の観察～】

生活の中で活用している人も多いのが「Google マップ」です。ストリートビューの機能を使えば、各地を旅するように使用することもできます。修学旅行の模擬旅行もできそうです。

上の写真はストリートビューで見た東京都大島の地層です。しゅう曲している地層が、広く広がっています。周辺を動いてみたり拡大してみたりと、地層の観察に利用できます。

下の写真は阿蘇山の火口をGoogle Earth で見たものです。カルデラを見ることができます。段丘や三角州などの地形に関する学習では、立体的に見ることができるのでおすすめです。



【②地震本部～大地の学習と防災学習に活用～】

地震調査研究推進本部事務局(文部科学省研究開発局地震・防災研究課)による「地震本部」というWeb サイトがあります。ここでは地域別の地震の情報や、地震の起きるメカニズムや、地震から身を守るためになど地震に関するさまざまな資料や情報を利用することができます。大地の学習や防災学習におすすめのサイトです。



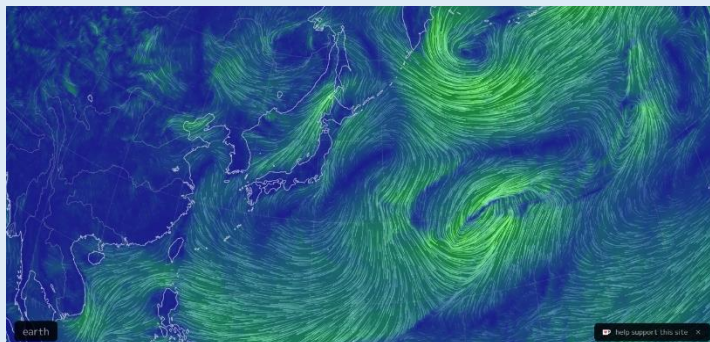
「地震本部」URL アドレス
<https://www.jishin.go.jp/>

かいてい ちい へん か み のが
海底の小さな変化も見逃すな!!

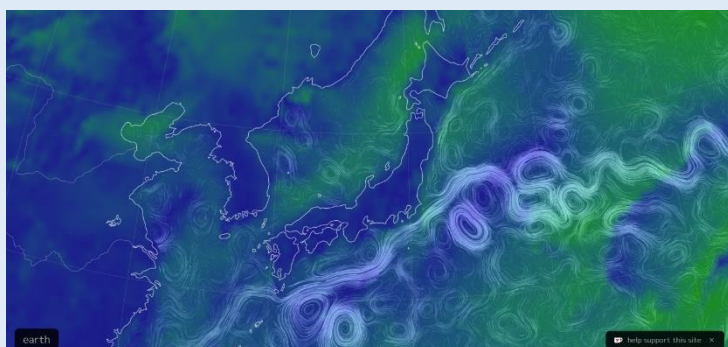
大地震(おおじしん)が起(お)こる場所(ばしょ)は陸(りく)だけでなく海(うみ)の底(そこ)にもあります。だから陸(りく)の観測(かんそく)か(か)んそく)だけでなく、海(うみ)の底(そこ)の観測(かんそく)も欠(か)かせません。そのため(ため)に地震(じしん)や津波(つなみ)を観測(かんそく)するしくみ作(つく)りが進(すす)められています。

【③地球の風～地上と上空の風の動きを確認～】

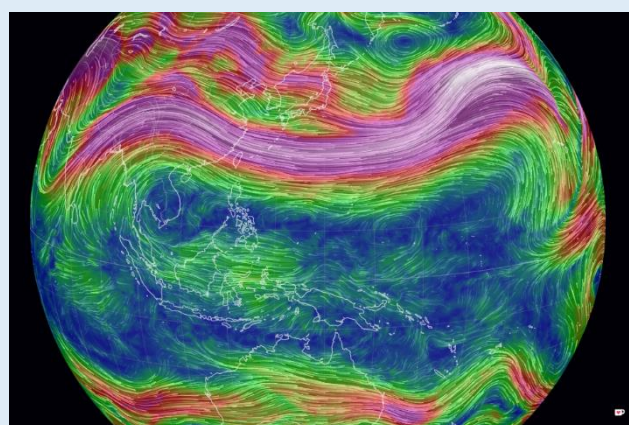
「地球の風」というWebサイトは地上に吹く風などを可視化することができます。強さや向きがわかり、北半球と南半球の違いを考えることもできます。このサイトの優れているところは、地上の風だけでなく、上空の風や海流の流れなども可視化できます。偏西風の学習や、親潮や黒潮などの海流の学習に活用ができます。社会の地理の学習で大活躍できるサイトです。



地上の風の流れ



日本近海の海流の流れ



上空の風の流れ⇒偏西風がわかる

「地球の風」URL アドレス <https://earth.nullschool.net/jp/>



【④ENE - LEARNING～SDGsの視点を取り入れたエネルギー学習～】

電気事業連合会・(株)放送映画製作所が運営する電気事業連合会エネルギー・環境教育支援サイト「ENE-LEARNING」(エネルギーラーニング)には、授業で活用できるワークシートや豊富な動画や資料が揃えてあります。

SDGsの目標から見た日本の発電
実践編【24分】

「環境」「経済」「安定供給」をキーワードにSDGsの目標から日本の発電方法(火力発電・再生可能エネルギー・原子力発電)を紹介しています。



特にSDGsに関する学習を行う際に有効です。日本の未来の発電について考えることや、エネルギーについての現状や課題について理解することができます。理科だけでなく、社会や総合的な学習の時間での活用が期待されます。

「ENE - LEARNING」URL アドレス <https://fepec.enelearning.jp/>

年度末になり、新年度の計画なども進んできているかと思います。上記のようなサイトの活用を検討してください。有効な学習活動につながっていきます。

今年度の教育センターだよりも最終号になります。来年度も少しでも役に立つセンター運営、情報提供をしていきたいと思っております。新年度もよろしくお願いいたします。